

【がん種】 [乳癌](#)
【レジメン名】 weekly PTX+Bmab
【登録番号】 100140
【1コースの期間】 4週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 軽度:パクリタキセル、最小度:アバステン
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(起壊死性):パクリタキセル、ノンビシカント(非壊死性):アバステン
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、アレルギー反応、傾眠、疲労、間質性肺炎、高血圧、蛋白尿、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、筋肉痛、関節痛、脱毛
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 357:2666-2676, 2007. Breast Cancer Res Treat 129:829-838, 2011. J Clin Oncol 29:4286-4293, 2011. Eur J Cancer 70:146-155, 2017.

【点滴の時間】 [day1]初回4時間5分、2回目～3時間5分、[day8]2時間35分、[day15]初回3時間35分、2回目～3時間5分
【費用】 編集中
【その他】 対象患者:原則HER2-、HER2+例では抗HER2療法を十分に行った後に使用する。アルコール不耐性ではない、大きな手術後から28日以上経過している、2.5mL以上の鮮血の喀血がない。
パクリタキセル:自然落下投与時は本来の滴数の約1.5倍に設定する。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日							
					1	...	8	...	15	...	28	
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		○		○			
2	レスタミン錠 10mg	5 錠/回	内服	1日1回 パクリタキセル投与30分前	○		○		○			
3	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ファモチジン注射用 20mg	1 B 1 A 1 V 1 A	側管	全開 開始時にレスタミン内服	○		○		○			
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○		○		○			
5	生理食塩液 250mL パクリタキセル注「NK」	1 B 90 mg/m2	側管	1時間 フィルター使用(DEHPフリー)	○		○		○			
6	生理食塩液 100mL アバステン点滴静注用 初回90分、2回目1時間、3回目～30分	1 B 10 mg/kg	側管		○				○			